

# PlateSpin Protect 10.2 リリースノート

2012年5月4日

Novell®

## 1 このリリースについて

バージョン 10.2 は、新機能、改善、およびバグ修正を提供します。

同梱の以前の 10.x リリースの、リリースノートのドキュメントについては、[PlateSpin Protect 10 マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/platespin\\_protect\\_10\)](http://www.novell.com/documentation/platespin_protect_10) にアクセスし、メインの目次ページの下部にある「[以前のリリース](#)」を確認してください。

このリリースに同梱される英語マニュアルおよび統合化された WebHelp システムは、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、日本語、ドイツ語、およびフランス語にローカライズされています。PlateSpin Protect 10 マニュアルの Web サイトにある英語マニュアルは、最新バージョンであることに注意してください。

## 2 バージョン 10.2 での新機能

- **VMware vSphere 5.0 のサポート** : このリリースでは、vSphere 5.0 および vSphere 5.0 アップデート 1 をサポートしています。保護コンテナとして vSphere 5.0 DRS Cluster または ESXi 5.0 Server を選択できるようになりました。

『ユーザガイド』の「[サポートされる構成](#)」セクションにすべて目を通してください。

- **WinPE 3.0 を活用した追加の ISO イメージ** : このリリースには、フェールバック時に物理マシンをブートするための追加の ISO イメージ (WindowsFailback-WinPE3.iso) が含まれています。新しいイメージは Microsoft Windows Preinstallation Environment (WinPE) バージョン 3.0 を活用しています。ターゲットハードウェアが既存のブート ISO イメージ (WindowsFailback.iso) でサポートされていない場合は、これを使用してください。

『ユーザガイド』の更新された「[ターゲット物理マシン向けの ISO ブートイメージ](#)」を参照してください。

- **Microsoft SQL Server 2008 R2 のサポート** : このリリースでは、PlateSpin Protect で必要とされるデータベースエンジンとして Microsoft SQL Server 2008 R2 をサポートしています (Microsoft SQL Server 2005 は引き続きサポートされます。また、Microsoft SQL Server 2005 Express Edition は引き続き製品と共に出荷されます)。
- **Windows のワークロード用 .NET フレームワーク要件の統一** : PlateSpin Protect によって保護される対象の Windows ワークロードは、PlateSpin Protect によってインベントリされる前に、Microsoft .NET Framework バージョン 2 または 3.5 SP1 がインストールされている必要があります。
- **PlateSpin Server に対してフェールバック物理マシンをポイントするための単純な URL** : フェールバックターゲットとして物理マシンを起動するために ISO イメージを使用する場合、PlateSpin Server ホストのホスト名または IP アドレスを指定するだけでよくなりました ([http://<hostname\\_OR\\_IP\\_address>/platespinprotect](http://<hostname_OR_IP_address>/platespinprotect) を入力する必要はなくなりました)。

### 3 バージョン 10.2 で廃止された機能

- ◆ **廃止されたコンテナ** : VMware ESX/ESXi 3.5 および 4.0 のサポートは中止されました。VM コンテナを VMware ESX/ESXi 4.1 または ESXi 5 にアップグレードしてから、Protect 10.2 にアップグレードする必要があります。

『ユーザガイド』の「サポートされる構成」セクションにすべて目を通してください。

- ◆ **イメージング** : PlateSpin Protect 10.2 ではワークロードイメージ保護 (指定されている PlateSpin Image Server を使用) は中止されました。この機能が必要な場合は、このリリースにアップグレードしないでください。引き続き PlateSpin Protect 10.1 を使用してください。

『インストールおよびアップグレードガイド』の「PlateSpin Protect のアップグレード」を参照してください。

- ◆ **Portability Suite からのアップグレード** : PlateSpin Protect の 8.x (Portability Suite) バージョンからのアップグレードはサポートされなくなりました。8.x のインストールからのアップグレードが必要な場合は、最初に 10.0 または 10.1 にアップグレードしてから、10.2 にアップグレードしてください。

### 4 バージョン 10.2 で修正されたバグ

バージョン 10.2 は、以下のバグに対応しています。

- ◆ **722096 コンテナをリフレッシュした後、インベントリからフェールオーバー VM 情報が削除された** : 時々、PlateSpin Server はコンテナから情報を適切に取得できないことがありました。コンテナのリフレッシュ操作で、フェールオーバー VM に関する情報が削除されてしまい、保護コンテナおよびフェールオーバーの機能にマイナスの影響を受けた可能性があります。
- ◆ **697049 vNIC の MAC アドレスが変更された後、保護コントラクトが壊れました** : 保護コントラクトをセットアップした後、フェールオーバー VM の仮想ネットワークアダプタの MAC アドレスを変更 (手動またはハイパーバイザによって自動的に) したことで保護が壊れました。
- ◆ **672815 vNIC と vNetwork 間のマッピングが見つからないため初期完全レプリケーションを開始できません** : レプリケーションの準備操作中のいくつかの状況下では、コンテナのリフレッシュが、新規に作成されたフェールオーバー VM に関するインベントリ情報の収集を妨げ、これがネットワークのマッピングに影響してレプリケーションを害する可能性があります。
- ◆ **736280 Linux フェールバックにおいてエラーのある localhost.localdomain ホスト名** : ターゲットホスト名が [変更なし] に設定されていた場合、フェールバック時にワークロードに localhost.localdomain ホスト名が割り当てられました。
- ◆ **736280 ホストドライブの文字が一致しないと、インストールが失敗する** : Microsoft SQL Server がリモートホスト上にある環境に製品をインストールする場合、そのホスト上のドライブ文字と PlateSpin Server ホストのドライブ文字が一致しないとインストールが失敗しました。

### 5 バージョン 10.2 の既知の問題

- ◆ **756454 (vSphere 5) 復旧ポイントがターゲット仮想マシンの VMDK ファイルと同じデータストアに保存される** : ワークロードを vSphere 5 DRS Cluster または ESXi Server コンテナに保護するときに、環境設定ファイルデータストアのロケーションが表示され、これはフェールオーバー VM の VMX ファイルのストレージロケーションのみを特定し、復旧ポイントスナップショットのストレージロケーションはわかりません。これによって空き領域の計算が不正確となり、検証に影響を与えます。

詳細については、ナレッジベースの記事 [7005494 \(http://www.novell.com/support/kb/doc.php?id=7005494\)](http://www.novell.com/support/kb/doc.php?id=7005494) を参照してください。

- ◆ **737715 Storage vMotion を使用してフェールオーバー VM を再配置できません** : 保護コンテナが vSphere 5 の VMware DRS Cluster であり、ワークロードの初期レプリカが増分で作成されるいくつかの状況下において、Storage vMotion はフェールオーバー VM のディスクファイルを共有ストレージロケーション全体に再配置できない場合があります。

*回避策*: この問題を回避するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ◆ VMware vSphere Client を使用してフェールオーバーVM の登録を解除して再び登録し直し、その後で Storage vMotion を使用して VM の再配置を試みます。

- または -

- ◆ 根底にある問題を解決する、VMware ESXi 5.0 [パッチ ESXi500-201109401-BG](#) を適用します。ホストを再起動し ( 必須 )、Storage vMotion を使用して VM の再配置を試みます。

問題に関する詳細な技術情報については、VMware ナレッジベースの記事 [2005740](#) を参照してください。

- ◆ **737057、736959 (vSphere 5 Storage DRS) ターゲットデータが見つからない、またはボリュームとデータストア間のマップが正確でない** : ワークロード保護コントラクトを表示または編集するとき、ボリュームとデータストア間のマップが正確でない場合があります。ターゲットデータストアは、PlateSpin Protect Web インタフェースで見つからないとして報告され、妥当性検査エラーとなる可能性があります。ほとんどの場合、これは VM を vSphere 5 プラットフォームの vSphere 5 Storage DRS (Distributed Resource Scheduler) システム内の別のデータストアに移動したために起こります。

*回避策*: ほとんどの場合、この問題は保護コントラクトで機能的な影響はありません。ただし、最初にレプリケーションが成功する前に手動でデータストアの名前を変更すると、保護コントラクトが使用できないと表示される可能性があります。保護コントラクトの整合性を保持するため、フェールオーバー VM またはその基礎となる DRS の構造を操作しないでください。

- ◆ **595490 フェールバック時にブートパーティションを保持すると、フェールバックが停止する** : 一部のフェールバックシナリオでは、ターゲットのアクティブ (またはブート) パーティションの保持がシステムによって不適切に許可されるため、ターゲットが正しくブートしなくなります。この問題は調査中です。

*回避策*: [フェールバックの詳細] では、ターゲットのブートパーティションを保持することを選択しないでください。

- ◆ **702152 VM コンテナに多くのデータストアがあると、WAN を通じた保護に時間がかかる** : 特定の状況下では、ターゲットのブートに必要な適切な ISO イメージを見つけるのに予想以上の時間がかかります。PlateSpin Protect Server が WAN を通じて VM コンテナに接続されており、VM コンテナに多くのデータストアがある場合に、この状況が発生することがあります。この問題は調査中です。

- ◆ **698611 特定の状況下でのフルクラスタレプリケーションの障害** : Windows 2008 R2 クラスタ保護契約が既存の VM への同期を通じてセットアップされる場合、およびアクティブなクラスターノードがフルレプリケーションの前にひっくり返った場合、フルレプリケーションジョブが失敗します。

ナレッジベースの記事 [7008771 \(http://www.novell.com/support/viewContent.do?externalId=7008771\)](http://www.novell.com/support/viewContent.do?externalId=7008771) を参照してください。

- ◆ **686911 データストアとの間のファイルの送受信に問題がある** : 保護ターゲットが VMware DRS Cluster である特定の状況下において、システムはブート ISO イメージなどのファイルのアップロードまたはダウンロードが失敗する場合があります。これは保護コントラクトにマイナスの影響を与える可能性があります。  
ナレッジベースの記事 7008306 (<http://www.novell.com/support/viewContent.do?externalId=7008306>) を参照してください。
- ◆ **655828 NSS ボリュームのマウント失敗** : フェールオーバー時またはフェールオーバーをテストした時に、スナップショットが有効になっている NSS ボリュームが期待とおりに自動的にマウントされません。  
ナレッジベースの記事 7008773 (<http://www.novell.com/support/viewContent.do?externalId=7008773>) を参照してください。
- ◆ **638392 ESX 4.1: dvSwitch ポートグループが同じ名前を共有している場合、直接ホスト検出で VM ポートグループが欠落します。**  
*回避策*: ポートグループ名が固有であることを確認します。
- ◆ **680259 (VMware 4.1) トラフィック転送 VM により、ネットワークパフォーマンスが乏しい** : 一部のシナリオで、ネットワークトラフィックを転送するワークロードのレプリカ (たとえば、ワークロードの目的が NAT、VPN、またはファイアウォールのネットワークブリッジとして機能することである場合) は、ネットワークパフォーマンスの大幅な低減を示します。これは、LRO (Large Receive Offload) をもつ VMXNET 2 と VMXNET3 アダプタの問題に関連しています。  
*回避策*: 仮想ネットワークアダプタの LRO を無効にします。詳細については、[VMware vSphere 4.1 リリースノート](http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/vsp_esxi41_vc41_rel_notes.html) ([http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/vsp\\_esxi41\\_vc41\\_rel\\_notes.html](http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/vsp_esxi41_vc41_rel_notes.html)) を参照してください。箇条書き項目「Poor TCP performance...」まで下にスクロールしてください。
- ◆ **Linux ワークロードに対するソフトウェア RAID サポートなし** : PlateSpin Protect は、ソフトウェア RAID のボリュームの Linux ワークロードをサポートしていません。
- ◆ **590635 アップグレード後、フェールオーバーの結果が矛盾する** : PlateSpin Protect にアップグレードすると、フェールオーバーの操作が失敗したり、適切なホスト名やワークグループ設定などの正しいフェールオーバーパラメータが適用されなかったりする可能性があります。  
*回避策*: フェールオーバーを実行する前に、レプリケーションを実行します。
- ◆ **581860 中国語エディションの製品でブラウザの例外が発生する** : 特定のバージョンの中国語が追加されていないブラウザを使用して PlateSpin Protect Server に接続しようとする、Web ブラウザにエラーが発生する可能性があります。適切に動作するようにするには、ブラウザの環境設定を使用して特定の中国語 (たとえば、Chinese [zh-cn] または Chinese [zh-tw]) を追加します。文化的な区別のない Chinese [zh] という言語は使用しないでください。
- ◆ **610918 統合ヘルプ内の展開アイコンおよび縮小アイコンが反応しない** : 拡張ブラウザセキュリティ設定を使用した一部のシステム (Windows Server 2008 上の Internet Explorer 8 など) では、目次内の展開アイコンおよび縮小アイコン (+ および -) が機能しない場合があります。この問題を修正するには、ブラウザ内で JavaScript を有効にします。
  - ◆ **Internet Explorer:** [Tools ( ツール)] > [Internet Options ( インターネットオプション)] > [Security ( セキュリティ)] タブ > [Internet ( インターネット)] ゾーン > [Custom level ( カスタムレベル)] の順にクリックし、[Active Scripting ( アクティブスクリプティング)] 機能用の [Enable ( 有効にする)] オプションを選択します。
  - ◆ **Firefox:** [Tools ( ツール)] > [Options ( オプション)] > [Content ( コンテンツ)] タブの順にクリックし、[Enable JavaScript (JavaScript を有効にする)] オプションを選択します。

- ◆ **558937 VSS を使用するブロックレベルのレプリケーションの失敗 (Windows):** VSS ベースのサードパーティ製バックアップソフトウェアを使用している場合は、ブロックレベルのレプリケーションが場合によっては失敗することがあります。

**回避策:** ブラックアウトウィンドウ (『ユーザガイド』の「[保護ティア \(http://www.novell.com/documentation/platespin\\_protect\\_10/user/data/bp8c7fq.html\)](http://www.novell.com/documentation/platespin_protect_10/user/data/bp8c7fq.html)」を参照) を使用します。

## 6 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright (c) 2012 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。